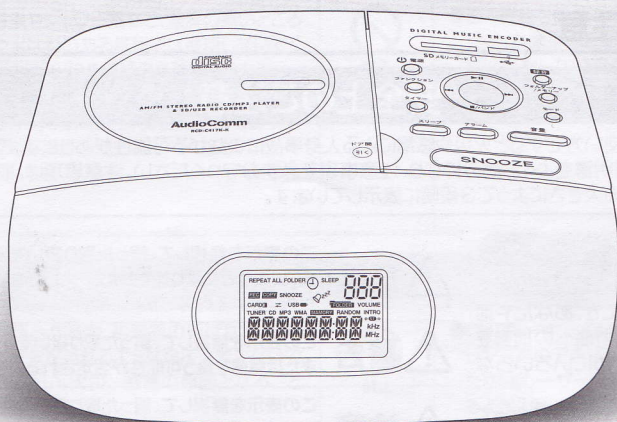
AudioComm®

RCD-C417K-K

取扱説明書 保証書付

USB/SD・CDラジオ

AM/FM STEREO RADIO CD/MP3 PLAYER & SD/USB RECORDER

このたびは、AudioComm®製品をお買い上げいただき、
誠にありがとうございました。

⚠ 警告 電気製品は安全のため注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。**"この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。"**なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

目 次

安全上のご注意 …… 1～3
ご使用になる前に …… 4
電源について …… 5
各部の名称 …… 6
時刻を設定する …… 7
CDを聴く …… 8～10
ラジオを聴く …… 11
SDカード・USBフラッシュメモリーの音楽・音声を聴く …… 12
外部機器の音楽・音声を聴く …… 13
CDの音楽をSDカード・USBフラッシュメモリーにコピー／録音する …… 14～15
SDカードとUSBフラッシュメモリーの間でコピー／録音する …… 15～16
SDカードやUSBフラッシュメモリー内のデータを消去する …… 16
外部機器（AUX IN）の音をSDカード・USBフラッシュメモリーに録音する …… 17
アラーム・タイマーを設定する …… 18～19
スリープを設定する …… 19
パソコンとSDカード・USBフラッシュメモリーのデータをやり取りする …… 20
ヘッドホンで聴く時は …… 20
故障かなと思ったら …… 21
お手入れのしかた …… 21
主な仕様 …… 22
保証書とアフターサービスについて …… 22
保証書

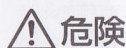
下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。
- ●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- ●本製品によって生じたデータの消失または破損
- ●本製品のために費やした時間および経費
- ●本製品を運用した結果もたらされた損害
- ●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果および利益の損失
- ●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

安全上のご注意

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって３段階に表示しています。

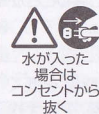
絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。（左図の場合は感電注意が描かれています。）
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。（左図の場合は分解禁止が描かれています。）
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く、が描かれています。）

⚠警告

異常の時はコンセントから抜く	●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。
分解禁止	●本体を修理、改造しないでください。火災・感電の原因となります。
水が入った場合はコンセントから抜く	●万一、内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
コードを交換する	●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、使用を中止し、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
水かけ禁止	●浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しないでください。火災や感電の危険があります。
接触禁止 感電に注意	●雷が鳴り始めたら、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
異物が入った場合はコンセントから抜く	●万一、機器の内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
禁止	●表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
禁止	●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず重いものをのせてしまうことがあります。
禁止	●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。
禁止	●この機器を使用できるのは日本国内のみです。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しないでください。火災の原因となります。

⚠注意

禁止	●調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湿気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
禁止	●ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
禁止	●電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
禁止	●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
禁止	●CDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。
禁止	●電源プラグを抜く時は、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずACアダプター本体を持って抜いてください。
禁止	●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注意(前ページから続く)

禁止

●窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

乾電池の電極性に注意

●時計用バックアップ乾電池を挿入する場合、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

●指定以外の電池は使用しないでください。乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

●電磁波を発生させる機器(テレビ、モニター等)に近づけないでください。電磁波により、お互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。

コンセントから抜く

●移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
コンセントから抜く時は必ず電源プラグ本体を持って抜いてください。

コンセントから抜く

●お手入れの際には安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

アンテナに注意

●移動させる場合は、アンテナを壁などから外してください。伸ばしたまま持ち運ぶと引っ掛かったりして、破損やけがの原因になることがあります。

指を挟まれないように注意

●お子様がCDドアに手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

音量に注意

●ご使用後、電源を切る前に音量を低く絞ってください。次回使用の際、突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になることがあります。
●ご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。近隣の迷惑になるとともに、耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

コンセントから抜く

●旅行などで長時間本機をご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜き、乾電池も取り外してください。火災・液もれの原因となることがあります。

時計用バックアップ乾電池を安全にお使いいただくために

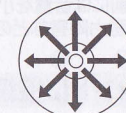
液もれ、発熱、破裂等の事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠警告	・火中への投入、加熱、分解をしない ・ショートさせない	⚠注意	・⊕⊖の表示通りに入れる ・指定以外の乾電池を入れない ・使い切った電池はすぐに取り出す ・しばらく使わない時は電池を取り外しておく

●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
●万一、もれた液が目に入った時は、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
●使用済みの乾電池を廃棄する時、自治体の条例などで決まりがある場合にはそれに従って廃棄してください。

ご使用になる前に

CD取扱上のご注意

●信号面(虹色に光っている面)を傷つけたり、指紋等がつかないように持ってください。指紋や汚れがついた時には、柔らかい布などで中心から放射状に軽く拭き取ってください。
●信号面やレーベル面に紙やテープなどを貼らないでください。
●寒いところから急に暖かいところに本機を移動させると、レンズに水滴がついたり結露することがあります。その場合は、数分間放置すると、結露が取り除かれて正常に動作するようになります。
●ひび割れやそり、ハート形や八角形など特殊形状のCDは使用しないでください。
●テープや接着剤で補修したCDは使用しないでください。
●CDを取り出す時は、CDドアの開閉に注意し、ディスクの回転が完全に止まってから取り出してください。
●ディスクを温度や湿度が高いところに置かないでください。
●ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。

本機はCD-R/RWの再生に対応しています。	●CD-R/RWディスク、レコーダー、書き込みソフトウェアの種類・状態によっては、再生できなかったり、ノイズ、音飛びが生じる場合があります。 ●ファイナライズ処理のされていないCD-R/RWは再生できません。 ●本機はCD-R/RWの文字情報(CD-TEXT)には対応しておりません。 ●再生可能なファイル形式は、WAVまたはMP3/WMA(32〜320kbps)です。

【ご注意】●ディスクに COMPACT disc DIGITAL AUDIO、CD SINGLE のマークが入ったものをご使用ください。
●コンパクトディスク(CD)規格に準拠していない著作権保護技術付音楽ディスクは、動作、音質を保証できません。
●コピーコントロールCDに関する詳細については、コピーコントロールCDの発売元にお問い合わせいただきますようお願いいたします。
●DualDisc(デュアルディスク)については、コンパクトディスク(CD)規格に準拠していないため、動作、音質を保証できません。
●DRM(デジタル著作権管理)ファイルの再生はできません。

USBフラッシュメモリーとSDカードについて

SDカードは16GB(SDHC対応)、USBフラッシュメモリーは16GBまで対応しています。いずれも再生可能なファイル形式はMP3またはWMAです。また、録音ファイル形式はMP3(128kbps/44.1kHz)となります。

【ご注意】●市販USBハブ・分岐アダプターはご使用になれません。SDカード・USBフラッシュメモリーを直接差し込んでご使用ください。
●SDカードアダプターでのご使用はおすすめしません。接触不具合等により正常に機能しないことがあります。
●フォーマット形式やご使用状況により、SDカード・USBフラッシュメモリーがご使用になれないことがあります。
●USB端子は再生専用です。充電機能は搭載されておりません。
●DRM(デジタル著作権管理)ファイルの再生はできません。
●本体内蔵AM/FMラジオの音声録音には、対応しておりません。

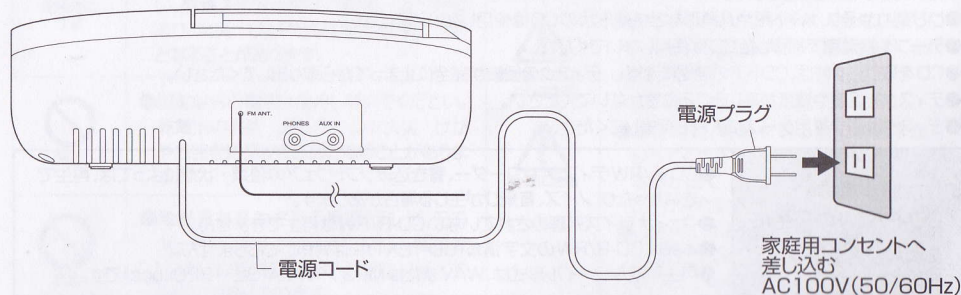
著作権について
放送やレコードその他の録音物(ミュージックテープ、カラオケテープ、コンパクトディスクなど)の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。従ってそれらから録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

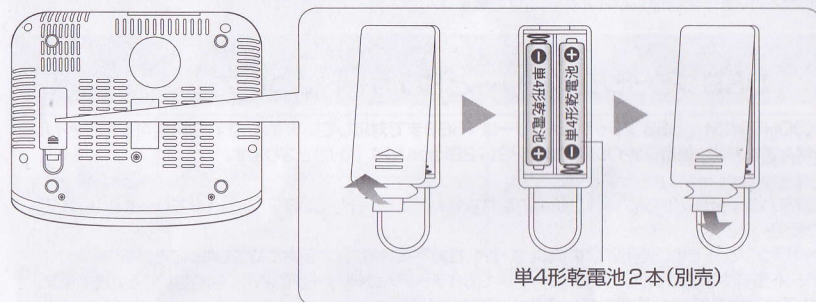
電源について

電源プラグを抜き差ししたり、時計用バックアップ乾電池を出し入れする時は、電源ボタンを押し、電源オフ(スタンバイモード)の時に行ってください。

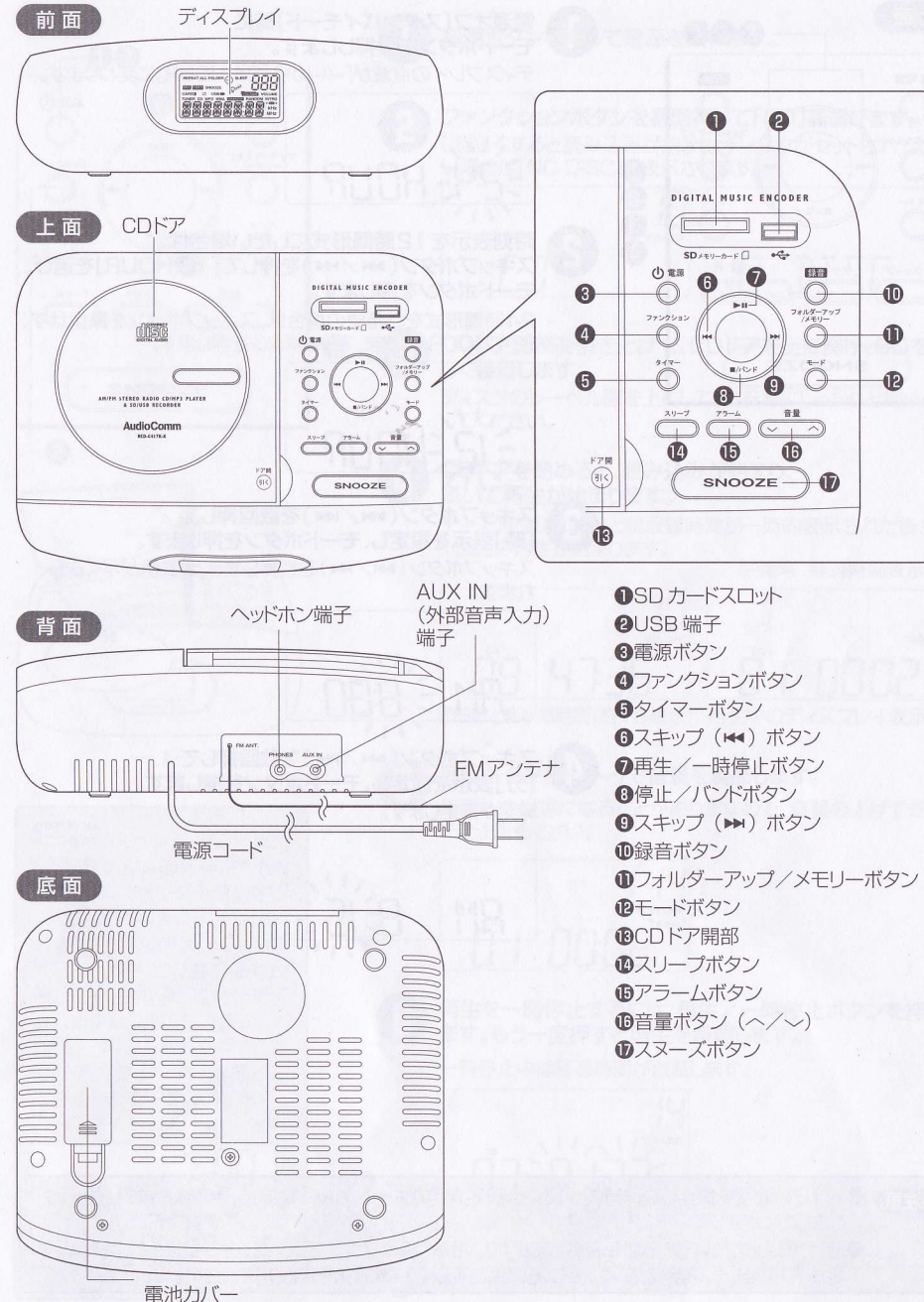
電源を切る前には音量を小さくしてください。大きいままですと、次に電源を入れて操作した時、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

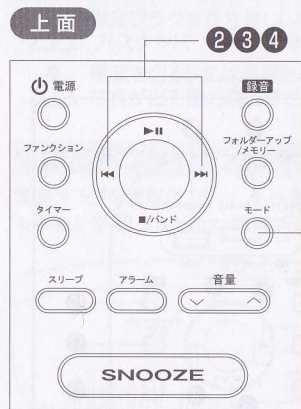
家庭用コンセントに接続するには

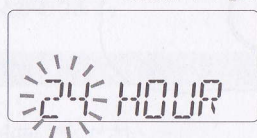
電源プラグを家庭用コンセントへ差し込んでください。
※本機を使用しない時は、電源プラグコンセントから抜いてください。

時計用バックアップ乾電池をセットするには

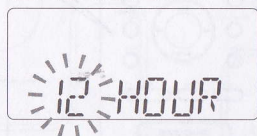
1. 電池カバー(本機底面)のツメを引き上げるようにして、カバーを取り外します。
2. 単4形乾電池2本(別売)を⊕⊖の向きに注意しながら正しく入れます(下図参照)。
3. 電池を入れ終えたら、電池カバーを元通りにはめます。

注意/時計用バックアップ乾電池はあくまで時計設定のメモリー保持のためのものです。この電池だけでは本機は動作しません。ご使用の際には必ず電源コードを家庭用コンセントに接続してください。
また、乾電池は徐々に消耗するため、約半年に1度は乾電池の交換をおすすめします。

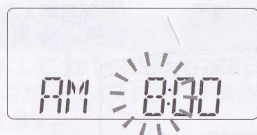
各部の名称

❶SDカードスロット
❷USB端子
❸電源ボタン
❹ファンクションボタン
❺タイマーボタン
❻スキップ(⏮)ボタン
❼再生/一時停止ボタン
❽停止/バンドボタン
❾スキップ(⏭)ボタン
❿録音ボタン
⓫フォルダーアップ/メモリーボタン
⓬モードボタン
⓭CDドア開部
⓮スリープボタン
⓯アラームボタン
⓰音量ボタン(︿/﹀)
⓱スヌーズボタン

時刻を設定する

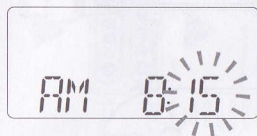
電源オフ(スタンバイモード)の時に操作してください。

❶ 電源オフ(スタンバイモード)時にモードボタンを長押しします。

ディスプレイの点滅が「--:--」から「24 HOUR」に変わります。

❷ 時刻表示を12時間形式にしたい場合は、スキップボタン(⏭/⏮)を押して「12 HOUR」を選び、モードボタンを押します。

24時間形式をご希望の場合は、スキップボタンを操作せず、「24 HOUR」のまま、モードボタンを押します。

❸ スキップボタン(⏭/⏮)を数回押して「時」表示を設定し、モードボタンを押します。

スキップボタン(⏭/⏮)を長押しすると、表示が早く送られます。

❹ スキップボタン(⏭/⏮)を数回押して「分」表示を設定し、モードボタンを押します。

時刻が確定します。

ご注意

- 約10秒間何も操作しない時間が続くと、設定操作がキャンセルされます。その場合は最初からやり直してください。
- 時計用バックアップ乾電池を装着していない場合、電源プラグをコンセントから抜くと、時計の設定が失われます。時計用バックアップ乾電池を正しく装着してからご使用ください。

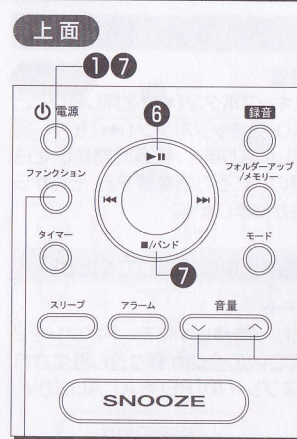
CDを聴く

ヒント

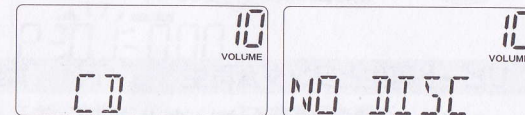
MP3やWMAの音楽ファイルの場合や、フォルダー階層を持つCD-R/RWはディスプレイの表示が下図のようになります(フォルダーは任意の番号が表示され、曲は通し番号が表示されます)。フォルダーアップ/メモリーボタンを数回押すことで任意のフォルダーを選ぶことができます(8階層まで)。

フォルダー番号

001 FOLDER
CD MP3
001 00:02

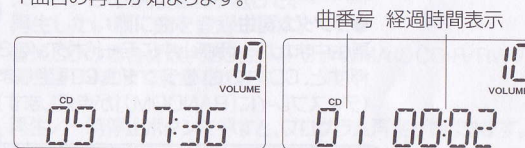
ファイル番号

❶ 電源ボタンを押して電源を入れます。

❷ ファンクションボタンを数回押して「CD」を選びます。

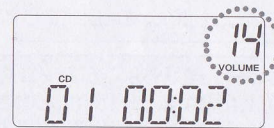
しばらくすると読み込みが始まり、ディスクがセットされていない場合は「NO DISC」と表示されます。

❸ CDドア開部を引き上げて、CDドアを上に開け、CDを正しく装着します。

ディスクのレーベル面を上にして、回転軸にしっかりとセットしてください。

❹ CDドアを閉めると、読み込みが始まり、続いて再生が始まります。

ディスク内の総曲数と総収録時間が一時的表示された後、1曲目の再生が始まります。

総曲数と総収録時間(約1秒表示)　再生中のディスプレイ表示

❺ 音量ボタン(︿/﹀)で音量を調節します。

周囲への迷惑になることがありますので、音量の上げすぎにご注意ください。

❻ 再生を一時停止するには、再生/一時停止ボタンを押します。もう一度押すと再生を再開します。

一時停止中は経過時間が点滅します。

❼ CDを終了するには、停止/バンドボタンを押した後、電源ボタンを押して電源を切ります。

次ページへ続く>>

スキップ再生/サーチ再生

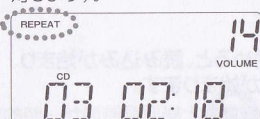
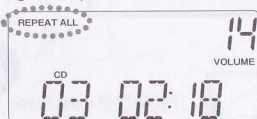
●スキップ再生
再生中にスキップボタン(⏭)を1回押すごとに次の曲に進み、曲の最初から再生が始まります。スキップボタン(⏮)を押すと、ひとつ前の曲に戻って再生します。

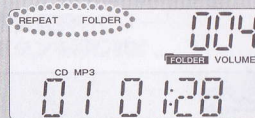
●サーチ再生
再生中にスキップボタン(⏭)を押し続けると早送りになり、スキップボタン(⏮)を押し続けると早戻しになります。経過時間表示を見ながら希望のところで指を離すと、そこから通常の再生が始まります。

リピート再生とランダム再生

再生中または一時停止中に操作してください。

モード

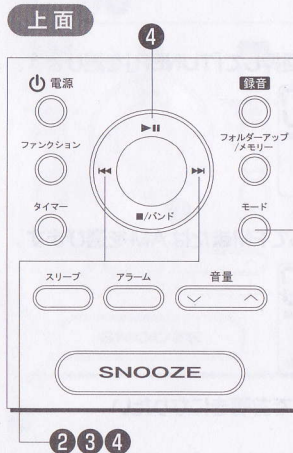
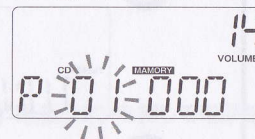
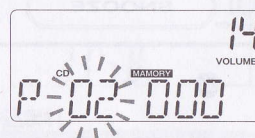
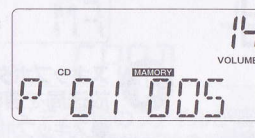
●1曲リピート
再生中または一時停止中にモードボタンを1回押すと、現在選ばれている曲が繰り返し再生されます(ディスプレイに「REPEAT」が点灯します)。

●全曲リピート
再生中または一時停止中にモードボタンを2回押すと、CD内の全曲が繰り返し再生されます(ディスプレイの「REPEAT ALL」が点灯します)。

●ランダム再生
再生中または一時停止中にモードボタンを3回押すと、CD内の曲をランダムに再生します(ディスプレイに「RANDOM」が点灯します)。

ヒント フォルダー階層を持つMP3などのCD-R/RWを再生している時は…
フォルダー階層を持つMP3などのCD-R/RWを再生している時は、モードボタンを3回押すと「フォルダーリピート」になり、フォルダー内の曲を繰り返し再生します(ディスプレイに「REPEAT FOLDER」が表示されます)。この場合、ランダム再生はモードボタンを4回押すと設定できます。

ヒント リピート再生およびランダム再生を解除するには、「REPEAT」、「REPEAT ALL」、「RANDOM」が消えるまで、モードボタンを数回押してください(停止/バンドボタンを押して再生を停止した場合も解除されます)。

プログラム再生

停止中に操作してください。

上面

電源 録音 ファンクション フォルダーアップ/メモリー タイマー モード スリープ アラーム 音量 SNOOZE ■/バンド

❶ 停止中にモードボタンを押します。
ディスプレイに「P 01 000」と「MEMORY」が表示され、最初に登録したい曲を選べる状態になります。

❷ スキップボタン(⏭/⏮)で曲番号を選び、モードボタンを押します。
ディスプレイの表示が「P 02 000」と表示され、2番目に登録したい曲を選べる状態になります。

❸ ステップ2の手順を繰り返して、再生したい順に曲を登録します。
音楽CDの場合は最大20曲、MP3やWMAのCD-R/RWの場合は99曲まで登録できます。

❹ 再生/一時停止ボタンを押すと、プログラム再生が始まります。
プログラム再生中は「MEMORY」が点灯します。

ヒント
●プログラムの登録操作を解除するには、停止/バンドボタンを押します。
●プログラム再生を始めた後、停止/バンドボタンを1回押すと、再生は停止しますがプログラム自体は保持されています。もう1回押すとプログラム内容が破棄されます。また、CDドアを開ける、電源を切る、他のファンクションに移行する、といった操作をした場合も、プログラムは破棄されます。
●プログラム再生を始めた後、停止/バンドボタンを1回押してからモードボタンを押すと、押すたびにプログラム内容(登録番号と曲番号)を順に表示します。その際に、ステップ2と同様の手順で新たに曲番号を選ぶと、曲順を修正することができます。
●プログラム再生とリピート再生を組み合わせると、お聴きになりたい曲順で繰り返し再生することができます。
●フォルダー階層を持つCD-R/RWのプログラム登録は、ステップ2でフォルダーアップ/メモリーボタンを数回押してフォルダー番号を選んだ後、スキップボタン(⏭/⏮)で曲番号を選び、モードボタンを押します。

ご注意 ●プログラム再生とランダム再生を併用することはできません。

ラジオを聴く

上面

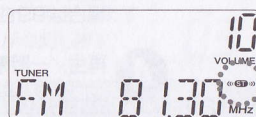
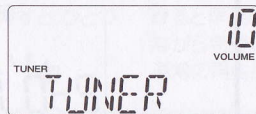
電源　録音　ファンクション　フォルダーアップ/メモリー　タイマー　モード　■/バンド　スリープ　アラーム　音量　SNOOZE

❶ 電源ボタンを押して電源を入れます。

❷ ファンクションボタンを数回押して「TUNER」を選びます。

❸ 停止／バンドボタンを押してFMまたはAMを選びます。

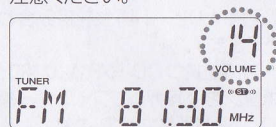
❹ スキップボタン（⏭／⏮）でお聴きになりたい放送局を選びます。

- スキップボタン（⏭／⏮）を押すたびに、AM放送の場合は9kHz単位で、FM放送の場合は0.1MHz単位で周波数が変化します。
- スキップボタン（⏭／⏮）を長押しすると、周波数が自動で送られ、いちばん最初に受信できた放送局で止まります。

FMステレオ放送を良好な状態で受信すると、«ST»マークが点灯します。

ヒント　プリセット登録について

プリセット登録したい放送局を受信中にモードボタンを押すと、音量表示がプリセット番号に変わって点滅します。フォルダーアップ／メモリーボタンを数回押してお好きなプリセット番号を選び、もう一度モードボタンを押すと、プリセットが完了します（AMは最大10局、FMは最大30局まで登録可能）。プリセット登録した放送局は、フォルダーアップ／メモリーボタンを数回押すことで選局できます。

❺ 音量ボタン（︿／﹀）で音量を調節します。

周囲への迷惑になることがありますので、音量の上げすぎにご注意ください。

❻ ラジオを終了するには、電源ボタンを押して電源を切ります。

より良い状態で受信するために…

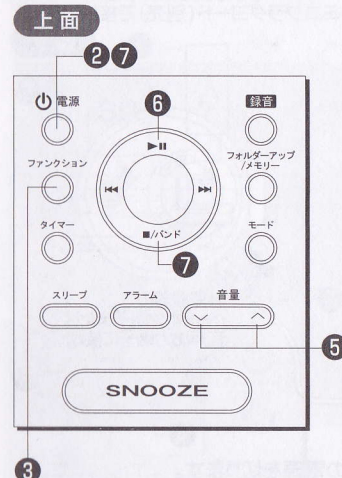
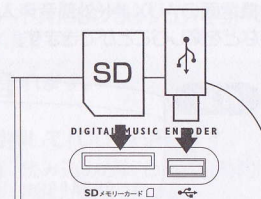
AM放送の場合　本機はアンテナが内蔵されています。より良く受信するために、本機を置く場所や向きを調整してください。

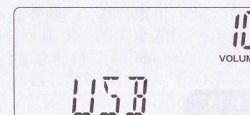
FM放送の場合　ワイヤーアンテナをしっかりと伸ばし、位置や向きを調節して、いちばんよく受信できる場所にテープ等で留めてください。

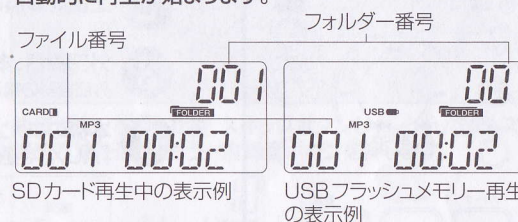
重要

テレビの近くでAMを受信すると、雑音が入ることがあります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このような時は、本機を離してご使用ください。

SDカード・USBフラッシュメモリーの音楽・音声を聴く

上面

❶ SDカードまたはUSBフラッシュメモリーをそれぞれのスロットまたは端子にセットします。

❷ 電源ボタンを押して電源を入れます。

❸ ファンクションボタンを数回押して「CARD」または「USB」を選びます。

❹ メディア内のファイルが読み込まれ、自動的に再生が始まります。

SDカード再生中の表示例　USBフラッシュメモリー再生中の表示例

※「FOLDER」マークおよびフォルダー番号は、音量表示と交互に表示されます。

❺ 音量ボタン（︿／﹀）で音量を調節します。

周囲への迷惑になることがありますので、音量の上げすぎにご注意ください。

❻ 再生を一時停止するには、再生／一時停止ボタンを押します。もう一度押すと再生を再開します。

❼ 再生を終了するには、停止／バンドボタンを押した後、電源ボタンを押して電源を切ります。

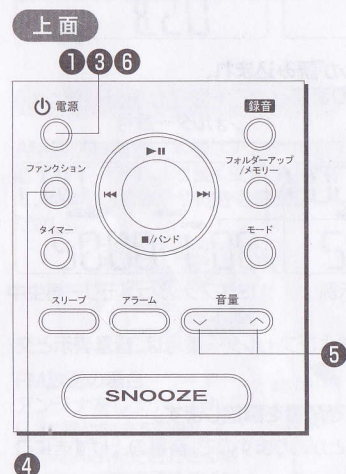
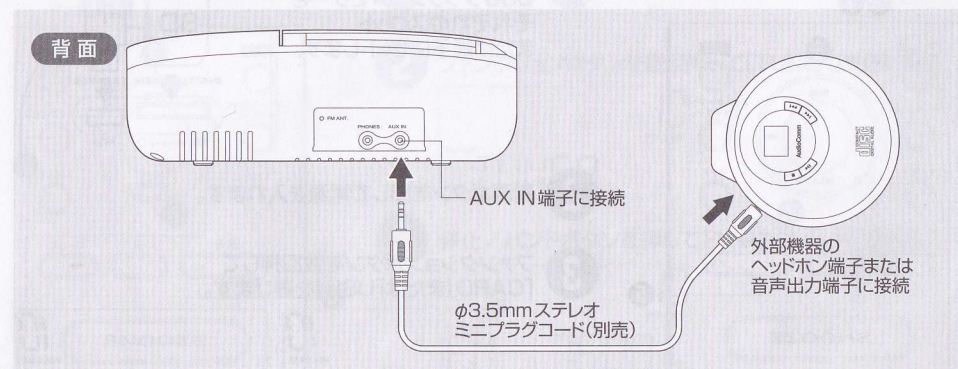
ヒント　フォルダー操作

フォルダーアップ/メモリー

フォルダー階層を持つSDカードやUSBフラッシュメモリーの場合は、フォルダーアップ／メモリーボタンを数回押すことで任意のフォルダーを選ぶことができます（8階層まで）。ディスプレイには、任意の番号でフォルダーが表示され、曲は通し番号が表示されます。

ヒント　SDカードおよびUSBフラッシュメモリーの再生操作については、CDと同じです。早送り、早戻し、リピート再生、ランダム再生、プログラム再生の方法は、「CDを聴く」（P.8～10）を参照してください。

外部機器の音楽・音声を聴く

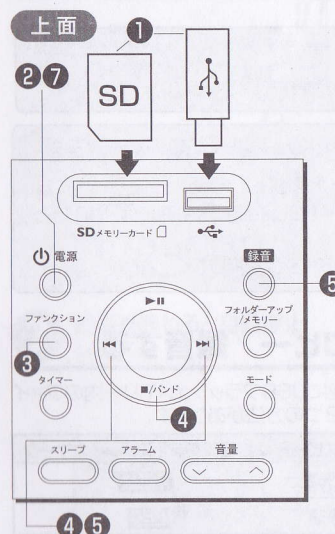
本機背面のAUX IN(外部音声入力)端子と外部機器をφ3.5mmステレオミニプラグコード(別売)で接続して、音楽などを楽しむことができます。

1. 本機と外部機器双方の電源を切ります。
2. 上図を参照し、本機と外部機器を接続します。
3. 外部機器、本機の順で電源を入れます。
   外部機器の電源を入れた後、外部機器側の音量を絞ってください。
4. 本機のファンクションボタンを数回押して「AUX」を選びます。

5. 外部機器側で再生等の操作をしてお楽しみください。
   ※音量操作は本機と外部機器側のどちらでもできますが、本機側で過度に大きくした場合、他のファンクションに移行時、大音量を発することがありますので、十分ご注意ください。
6. 聞き終わったら、外部機器、本機双方の電源を切り、接続を解除します。

CDの音楽をSDカード・USBフラッシュメモリーにコピー／録音する

本機にはSDカードやUSBフラッシュメモリーへのコピー／録音方法が2つあります。それぞれの特徴は以下の通りです。

コピー／録音方法	録音操作	録音中の再生音	録音スピード	録音時のディスプレイのマーク
ファイルコピー	CD停止時に録音操作	再生音なし	倍速	COPY
再生同時録音	CD再生時に録音操作	再生音あり	等速	REC

ここではファイルコピーの操作を基本に解説します。

ご注意

- CDによっては、ディスクが保護されており、録音できないものがあります。
- 録音ファイル形式はMP3(128kbps/44.1kHz)です。

REC ONE：
ステップ4で選んだ曲のみ録音します(再生中の場合は、その曲のみ録音)。
REC ALL：
メディア内の全曲を録音します(再生中の場合も最初の曲から全曲を録音)。
REC FOL：
フォルダー内の全曲を録音します(再生中の場合もフォルダー内の最初の曲から全曲を録音)。
※フォルダー階層を持つメディアのみ

1. 録音したいCDと、SDカードまたはUSBフラッシュメモリーをそれぞれ本機にセットします。
   CDの装着方法はP.8、SDカード、USBフラッシュメモリーの装着方法はP.12を参照してください。
2. 電源ボタンを押して電源を入れます。
3. ファンクションボタンを数回押して「CD」を選びます。

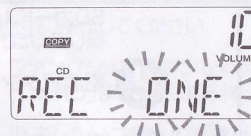
読み込みが終わると自動的に再生が始まります。

4. 停止／バンドボタンを押して、CDの再生を止めます。

1曲だけ録音したい場合は、スキップボタン(⏭／⏮)を押して、曲を選んでおきます。全曲またはフォルダー内の全曲(フォルダー階層を持つCD-R/RWのみ)を録音したい場合は、そのままステップ5へ進んでください。

再生同時録音の場合は…

録音したい曲を選んで再生してください。全曲またはフォルダー内の全曲(フォルダー階層を持つCD-R/RWのみ)を録音したい場合は、ディスクまたはフォルダーの最初から再生してもかまいません。

5. 録音ボタンを押した後、スキップボタン(⏭／⏮)を押して録音方法を選び、もう一度録音ボタンを押します。

6. 「WAITING」としばらく表示された後、録音が始まります。

録音先のメディアのマークが点滅します。

再生同時録音の場合は…

曲の再生が一時的に止まり、曲の最初から再生し直して録音が始まります。カウンターは時計表示となります。

ヒント SDカードとUSBフラッシュメモリーが両方装着されている場合は…

ステップ5の後に、録音先のメディアを選ぶ画面が表示されます。スキップボタン(⏭／⏮)でUSB(USBフラッシュメモリー)またはCARD(SDカード)を選び、録音ボタンを押すと、「WAITING」の点滅に続いて録音が始まります。

次ページへ続く>>

CDの音楽をSDカード・USBフラッシュメモリーにコピー／録音する（つづき）

7 録音が終わると自動停止します。

再生同時録音の場合は…
録音だけが止まり、再生はそのまま続きます。必要に応じて停止等の操作をしてください。

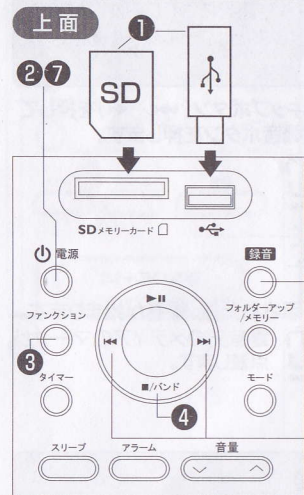
ご注意 録音途中で電源ボタンが押された場合、録音途中までのデータが保存され、録音動作を終了します。

ヒント ●本機によってコピー／録音したファイルは、SDカードまたはUSBフラッシュメモリー内に自動作成されたフォルダーに保存され（CDINフォルダー P20参照）、再生時には、「d01」とフォルダー番号が表示されます。
●途中で録音作業を停止・終了したい時は、停止／バンドボタンを押してください。

SDカードとUSBフラッシュメモリーの間でコピー／録音する

SDカード内のファイルをUSBフラッシュメモリーにコピー／録音したり、逆にUSBフラッシュメモリー内のファイルをSDカードにコピー／録音することができます。CDからの録音同様に、2つの方法があります。

コピー／録音方法	録音操作	録音中の再生音	録音スピード	録音時のディスプレイのマーク
ファイルコピー	録音元停止時に録音操作	再生音なし	進捗%表示	COPY
再生同時録音	録音元再生時に録音操作	再生音あり	等速	REC

上面

ここではSDカード内のファイルをUSBフラッシュメモリーにコピーする方法を基本に解説します。

1 SDカードとUSBフラッシュメモリーをそれぞれ本機にセットします。
SDカード、USBフラッシュメモリーの装着方法はP.12を参照してください。

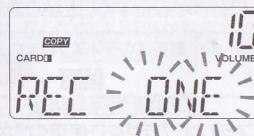
2 電源ボタンを押して電源を入れます。

3 ファンクションボタンを数回押して「CARD」を選びます。
読み込みが終わると自動的に再生が始まります。

4 停止／バンドボタンを押して、SDカードの再生を止めます。

1曲だけ録音したい場合は、フォルダーアップ／メモリーボタンとスキップボタン（⏭／⏮）を押して、曲を選んでおきます。全曲またはフォルダー内の全曲（フォルダー階層を持つ場合のみ）を録音したい場合は、そのままステップ5へ進んでください。

再生同時録音の場合は…
録音したい曲を選んで再生し、ステップ5へ進んでください。全曲またはフォルダー内の全曲を録音したい場合は、フォルダーの最初から再生し、ステップ5へ進んでください。

5 録音ボタンを押した後、スキップボタン（⏭／⏮）を押して録音方法を選び、もう一度録音ボタンを押します。

REC ONE：ステップ4で選んだ曲のみ録音（再生中の場合は、その曲のみ録音）。
REC ALL：メディア内の全曲を録音（再生中の場合も最初の曲から全曲を録音）。
REC FOL：フォルダー内の全曲を録音（再生中の場合もフォルダー内の最初の曲から全曲を録音）。※フォルダー階層を持つメディアのみ

6 「WAITING」としばらく表示された後、録音が始まります。

録音先のメディアのマークが点滅します。

再生同時録音の場合は…
曲の再生が一時的に止まり、曲の最初から再生し直して録音が始まります。

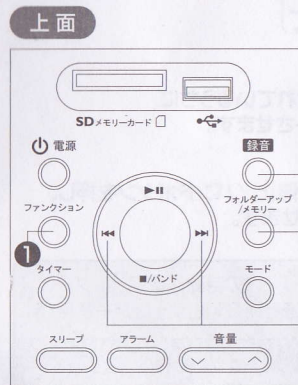
7 録音が終わると自動停止します。

再生同時録音の場合は…
録音だけが止まり、再生はそのまま続きます。必要に応じて停止等の操作をしてください。

ヒント ●USBフラッシュメモリー内のファイルをSDカードにコピー／録音する場合は、ステップ3で「USB」を選んでください。
●コピー／録音したファイルは、SDカードまたはUSBフラッシュメモリー内の自動作成フォルダーに保存され（COPYフォルダー P20参照）、本機で再生すると「C01」とフォルダー番号が表示されます。

SDカードやUSBフラッシュメモリー内のデータを消去する

SDカードまたはUSBフラッシュメモリーの再生停止中に操作してください。

上面

1 ファンクションボタンを数回押して「CARD」または「USB」を選びます。

2 消去したいファイルを選びます。
フォルダーあるいは全消去の場合は、③で「DEL FOL」または「DEL ALL」を選んでください。

3 録音ボタンを約3秒長押しします。「DELETE」表示後、スキップボタン（⏭／⏮）を押して消去対象を選びます。

DEL ONE	選択したファイルを消去
DEL FOL	選択したファイルを含むフォルダーを消去
DEL ALL	メディア内のファイルをすべて消去

選択したファイルのみを消去する場合の表示例（DEL ONE）

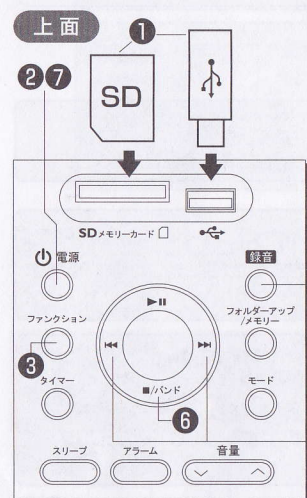
4 録音ボタンを押すと消去が始まります。
消去完了後は、停止状態になります。

ヒントとご注意 ●消去操作を途中で中止したい時は、停止／バンドボタンを押します。
●大事なデータを誤って消さないよう、パソコン等へコピーすることをおすすめします。
●消去されたデータの復元等は対応いたしかねます。

外部機器(AUX IN)の音をSDカード・USBフラッシュメモリーに録音する

AUX IN端子に外部再生機器等を接続しSDカード・USBフラッシュメモリーに音声を録音することができます。

コピー／録音方法	録音操作	録音中の再生音	録音スピード	録音時のディスプレイのマーク
再生同時録音	録音元再生時に録音操作	再生音あり	等速	REC

上面

※接続には市販φ3.5mmミニステレオプラグをご使用ください。

1 SDカードとUSBフラッシュメモリーをそれぞれ本機にセットします。

SDカード、USBフラッシュメモリーの装着方法はP.12を参照してください。

2 電源ボタンを押して電源を入れます。

3 ファンクションボタンを数回押して「AUX」を選びます。

音量調整のある外部機器は、試し録音を行い適度な音量に調整してください。

4 録音ボタンを押し、スキップボタン(⏭／⏮)を押して録音先(SDまたはUSB)を選択後、もう一度録音ボタンを押します。

どちらか1方しかない場合は、自動的にステップ5へ進みます。

5 ステップ4の画面が表示されているうちに外部機器の再生をスタートさせます。

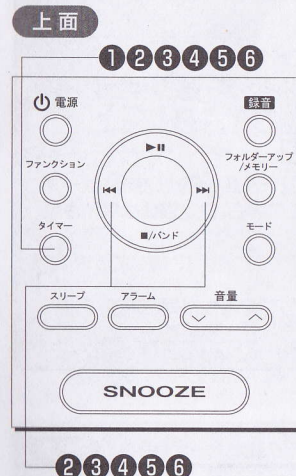
6 録音を停止するときには、停止／バンドボタンを押し、続いて外部機器を停止させます。

ヒント
- 録音したファイルは、SDカードまたはUSBフラッシュメモリー内の自動作成フォルダーに保存され(LINE_INフォルダー P20参照)、本機で再生すると「L01」とフォルダー番号が表示されます。
- 曲などの区切りを入れたい時は、区切りたいところで外部機器を止め、本機の停止／バンドボタンを押し録音を停止させ、再度ステップ4・5の作業を行ってください。

アラーム・タイマーを設定する

電源オフ(スタンバイモード)の時に操作してください。

任意の時刻にアラームや電源オン・オフタイマーを設定することができます。あらかじめ時刻を正しく設定してから操作してください。時刻が設定されていないとアラームは機能しません。

上面

1 タイマーボタンを約3秒間長押しします。

ONタイマーの設定画面になり、「時」表示が点滅します。

2 スキップボタン(⏭／⏮)を押して、タイマーONの「時」を選び、タイマーボタンを押します。

「時」を選んでタイマーボタンを押すと、「分」表示が点滅します。

3 スキップボタン(⏭／⏮)を押して、タイマーONの「分」を選び、タイマーボタンを押します。

「分」を選んでタイマーボタンを押すと、タイマー OFFの設定画面になります。

4 ステップ2～3と同様の手順でタイマーOFFの「時」と「分」を設定します。

5 スキップボタン(⏭／⏮)を押して、アラーム音として使う音源を選び、タイマーボタンを押します。

「TUNER」、「CD」、「USB」、「CARD」から選べます。

※ビープ音を設定するにはP19のヒントをご参照ください。

設定内容が順に表示された後、通常のスタンバイモードに戻ります。アラーム音は、音量表示10～26にて段階的に大きくなる仕様となっています。

ご注意 約10秒間、何も操作しない時間が続くと、操作がキャンセルされます。その場合は最初からやり直してください。

次ページへ続く>>

ヒント

SNOOZE
スヌーズ機能について
アラームが鳴っている時にスヌーズボタンを押すと、一時的にアラーム音が停止し、10分後に再度鳴ります。

アラーム
アラーム設定後、アラームボタンを押すと、ステップ5で設定した音源がキャンセルされ、ビープ音が設定されます（ディスプレイに マークが表示されます）。ビープ音はボリュームに関係なく、段階的に大きくなる仕様です。

タイマー
アラームを停止するには…
アラームが鳴っている時にタイマーボタンを押すと、アラーム音が停止します（ビープ音を設定時はアラームボタンでも停止します）。ただし、この場合、設定自体は保持されており、翌日の同時刻に再度作動します。

タイマー
アラームを解除するには…
タイマーボタンを押して、ディスプレイの マークを消してください。同じ時刻・音源・音量で良ければ、次回はタイマーボタンを押すだけでアラームを設定できます。

スリープを設定する

自動電源オフ（スタンバイモード）までの時間を設定できます。

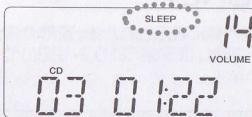
1 スリープボタンを押します。

SLEEP マークと「SLEEP 90」が表示されます。

2 さらにスリープボタンを数回押して、電源オフまでの時間を選びます。

90分～10分まで10分刻みで選べます。

3 数秒間そのままにすると、設定が完了し、通常の画面に戻ります。

SLEEP 14 VOLUME CD 03 01:22

SLEEP マークが表示されます。

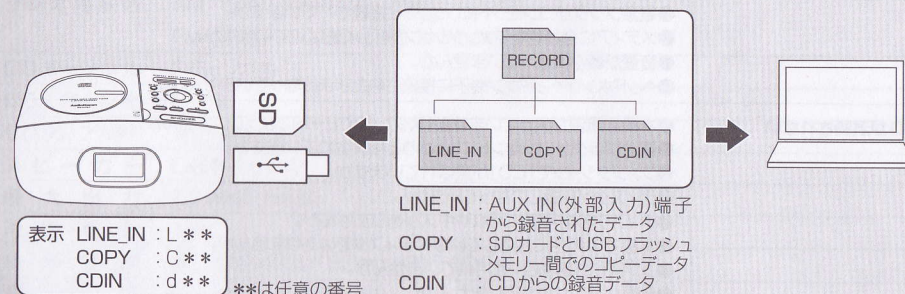
ヒント
●スリープ設定後にスリープボタンを押すと、電源オフまでの残り時間を確認できます。
●スリープを解除するには、電源を切るか、スリープボタンを数回押して「10」を表示させた後、さらにもう1回押します。

ご注意
音楽を再生している場合、再生の残り時間がスリープで設定した時間よりも短いと電源オフになりません。リピート等を設定して、スリープまでの時間よりも長くなるようにしてください。

パソコンとSDカード・USBフラッシュメモリーのデータをやり取りする

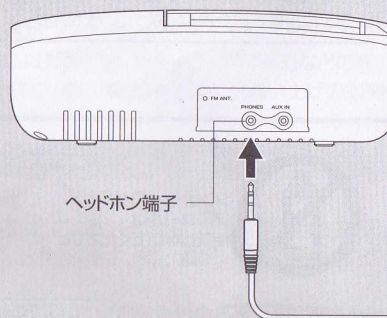
お手持ちのパソコンを使用して、録音したデータなどのやり取りができます。
本機にてSDカード・USBフラッシュメモリーへ録音作業を行うと、自動的にフォルダーが作成されます。

表示 LINE_IN ：L＊＊
COPY ：C＊＊
CDIN ：d＊＊
＊＊は任意の番号

LINE_IN ：AUX IN（外部入力）端子から録音されたデータ
COPY ：SDカードとUSBフラッシュメモリー間でのコピーデータ
CDIN ：CDからの録音データ

パソコンからSD・USBへデータファイルやフォルダーをコピーし、本機で再生できます。
対応仕様：MP3/WMAファイル（32～320kbp）、99フォルダー（最大8階層）/最大999ファイル

ご注意
●SDカード・USBフラッシュメモリーとパソコンの接続には、パソコン本体スロットやお手持ちのパソコンに対応する市販アダプター等をご使用ください。
●DRM（デジタル著作権管理）ファイルの再生はできません。

ヘッドホンで聴く時は

別売のヘッドホン（φ3.5mmステレオミニプラグ）を本機背面にあるヘッドホン端子につないでください。
ヘッドホンをつなぐとスピーカーからの音は聴こえなくなります。

ヘッドホンを使用する時は、本機の音量を下げた状態で接続してください。また使用時の音量の上げすぎにもご注意ください。聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。

故障かなと思ったら

症　状	確　認　事　項
音が出ない	●本機の電源が入っていますか(スタンバイモードになっていませんか)。 ●電源プラグがコンセントにしっかりと接続されていますか。 ●メディアに合わせたファンクションが正しく選ばれていますか。 ●音量が最小になっていませんか。 ●ヘッドホンがヘッドホン端子に接続されたままになっていませんか。
CDが演奏されない	●本機の電源が入っていますか(スタンバイモードになっていませんか)。 ●電源プラグがコンセントにしっかりと接続されていますか。 ●ファンクションで「CD」が選ばれていますか。 ●ディスクが裏返しになっていませんか。 ●ディスクの信号面に汚れやキズがありませんか。 ●本機での再生に対応していないディスクではありませんか。 ●レンズが結露もしくは汚れていませんか。 ●音量が最小になっていませんか。
CDの音が飛ぶ	●CDのレンズが汚れていませんか。 ●安定した場所に設置していますか。 ●ディスクの信号面に汚れやキズがありませんか。
ラジオ時に雑音が入る	●近くで携帯電話を使用していませんか(携帯電話は本機から離して使用してください)。
SDカードやUSBフラッシュメモリーの音楽が再生されない	●本機の電源が入っていますか(スタンバイモードになっていませんか)。 ●電源プラグがコンセントにしっかりと接続されていますか。 ●メディアに合わせて、ファンクションとして「SD」または「USB」が選ばれていますか。 ●メディアがUSB端子やSDカードスロットに正しく接続されていますか。 ●規格外のメディアを使用していませんか。 ●音量が最小になっていませんか。 ●ヘッドホンがヘッドホン端子に接続されたままになっていませんか。 ●USB端子やSDカードスロットにゴミやホコリが入っていたり、汚れていませんか。
外部機器の音が出ない	●外部機器と本機は正しく接続されていますか。 ●外部機器側、本機側の音量が最小になっていませんか。 ●ファンクションとして正しく「AUX」が選ばれていますか。 ●ヘッドホンがヘッドホン端子に接続されたままになっていませんか。

お手入れのしかた

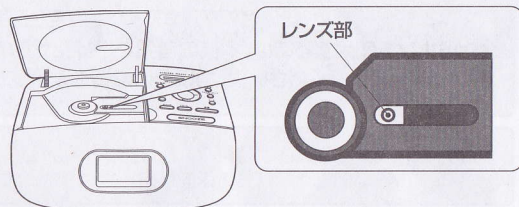
●本体のクリーニング

本機表面の汚れは柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい時は、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ、軽く拭いた後に乾拭きしてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、アルコールは使用しないでください。

●CDレンズ部のクリーニング

レンズの汚れは音飛びなど正常な再生ができなくなる原因となります。CD扉を開け、レンズについたホコリやゴミを市販のブロワー(エアスプレー)でクリーニングしてください。

※布や綿棒などをレンズに当てないでください。故障の原因となります。

主な仕様

電　　源	AC100V　50／60Hz 時計用バックアップ乾電池：単4形乾電池2本(別売)
ラジオ周波数	AM：522～1629kHz (9kHzステップ) FM：76.0～90.0MHz (0.1MHzステップ)
CDチャンネル	2チャンネル
CD　S/N比	52dB
CDワウ・フラッター	測定限界以下
スピーカー	口径57mm×2
最大出力	1.5W×2 (r.m.s)
消費電力	18W
外形寸法	幅250mm×高さ82mm×奥行195mm(突起物含まず)
質　　量	約1440g(乾電池含まず)
対応メディア	SDカード：SD 16GB(SDHC対応)まで USBフラッシュメモリー：16GBまで
フォルダー・ファイル	99フォルダー(最大8階層)/999ファイル　MP3/WMA (32～320kbps)
録音フォーマット	MP3(128kbps/44.1kHz)
動作保証環境	温度：-10～50℃　湿度：～90%
時計誤差	±2分／月
付　属　品	取扱説明書(保証書)

※WMA(Windows Media Audio)は、米国マイクロソフト社の開発した音声圧縮方式です。
※仕様・外観等は予告なく変更することがあります。
※本書で使用している図版は、実際と異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

保証書

持込修理　無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間中でも次の場合には有料修理となります。
   (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
   (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
   (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   (ホ)本書のご提示がない場合
   (ヘ)本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合
   （但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。）
   (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	USB/SD・CDラジオ			★お買上日：　　年　　月　　日
型　番	RCD-C417K-K	品　番	07-6417	保証期間：本体1年間(お買上げの日から)

お客様	
	★お名前　　　　　　　　　　　　　　様
	★ご住所　〒　　　ー
	電話　　（　　　）

修理メモ

販売店	★住所　店名　電話　　　　　　　　㊞

見本

(注)★印欄に記入の無い場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは **お客様相談室** へ
●通話料無料 0120-963-006　●携帯・IP・公衆電話からは 048-992-2735
電話受付　平日 9：00〜17：30　土曜 9：00〜17：00　日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は **修理ご相談センター**へ
電話受付　048-992-3970　平日 9：00〜17：00　土・日・祝日及び年末年始は除きます